

世界文化遺産
古典を遊ぶ

東山文化再考 — 香道の世界 —

PHOTO BY STEPHANE BARBERE

日本を代表する伝統芸能である香道は、室町時代に京都で花開き、「古典」と連なり「遊ぶ」ことによって深められていきました。室町時代から続く香道志野流次期家元の蜂谷宗苾氏と、伝統文化の場を現代に甦らせる活動を続けている濱崎加奈子が、今につながる香の道の端緒がひらかれたまさに東山の地で、聞香をとおして、日本文化の深奥を拓きます。

聞香席では、源氏物語をテーマに「空蟬香」を予定しています。非公開の弄香亭および東求堂の特別拝観も行っていただきます。非公開の弄香亭がはじめての方、歓迎いたします。ぜひお越しください。



講師

蜂谷宗苾

香道志野流第二十一世家元継承者



コーディネーター

濱崎加奈子

公益財団法人有斐斎弘道館館長 専修大学准教授

— 内容 —

- ・おはなし 蜂谷宗苾 × 濱崎加奈子
- ・聞香席
- ・弄香亭および東求堂の特別拝観

平成30年3月11日

午後13時 於 慈照寺(銀閣寺)

12時30分受付 / 16時頃終了予定

〔参加費〕5,000円(限定50名先着順 / お申し込み先: tadasu-noh@kodo-kan.com)

【主催】 札幌楽再興実行委員会 【特別協力】 志野流香道

平成29年度
文化庁地域遺産を活かした地域活性化事業

